

2 電気製品と安全

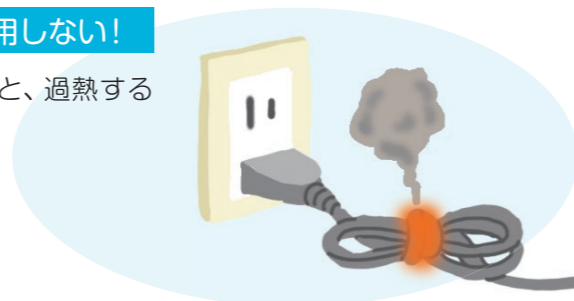
POINT

電気はとても便利なエネルギーですが、使い方を間違えると火災の原因となる場合があります、たいへん危険です。電気は正しく安全に使いましょう。

■ 電気の正しい使い方

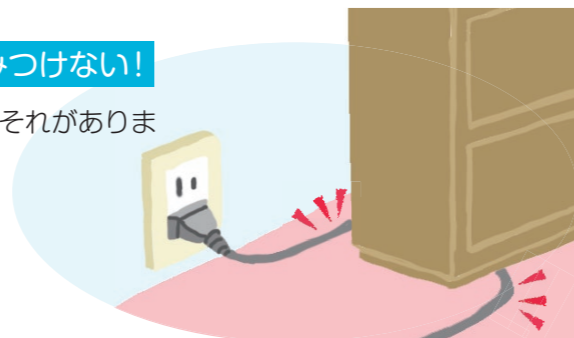
コードを束ねたまま使用しない!

束ねたまま電気を使用すると、過熱するおそれがあります。



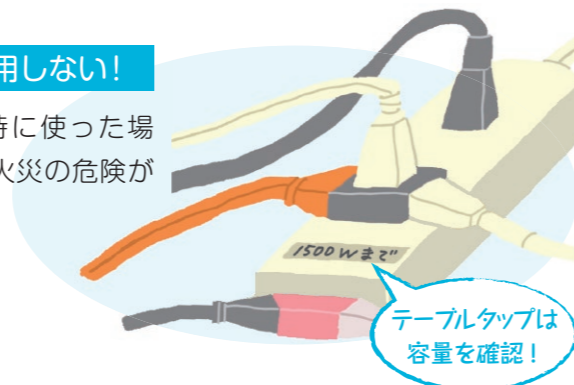
家具などでコードを踏みつけない!

コードが傷つき、出火するおそれがあります。



タコ足配線で同時に使用しない!

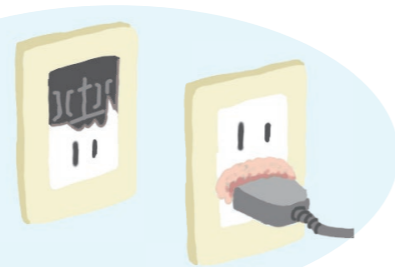
接続された電気製品を同時に使った場合、電流が多く流れて電気火災の危険があります。



定期的に掃除をして修理も忘れずに!

溜まったホコリでトラッキング現象*による火災につながったり、壊れた箇所が感電やショートにつながり危険です。

*溜まったホコリが湿気を帯び、放電が起きてプラグが発火する現象

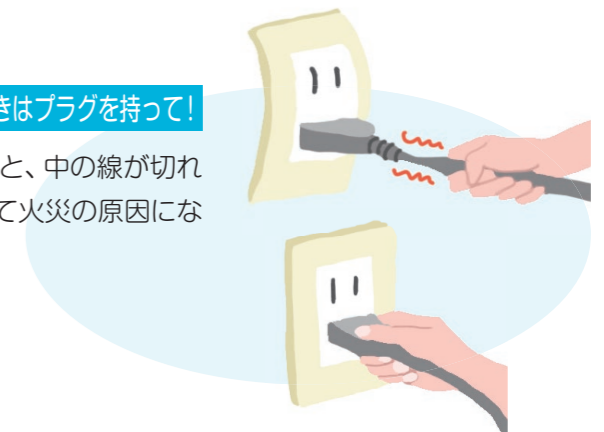


ぬれた手で電気製品を触らない!

ぬれていると、体に電気が通りやすくなり、感電するおそれがあります。

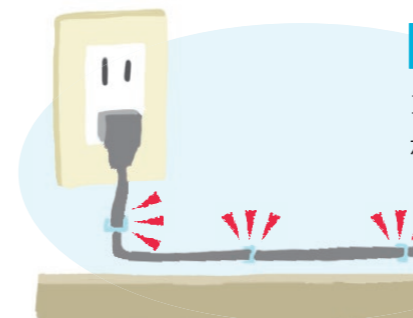
差し込みはしっかり、抜くときはプラグを持って!

コードを持って引っ張ると、中の線が切れるおそれがあり、過熱して火災の原因になります。



壁や柱にコードを固定しない!

コードが傷つき、過熱して火災の原因になります。



しろうと工事は危険!

コンセントや専用回路の取付けなど、電気工事を行うには資格が必要です。お近くの電気工事店や各地域の電気工事ホームセンターへご相談ください。

